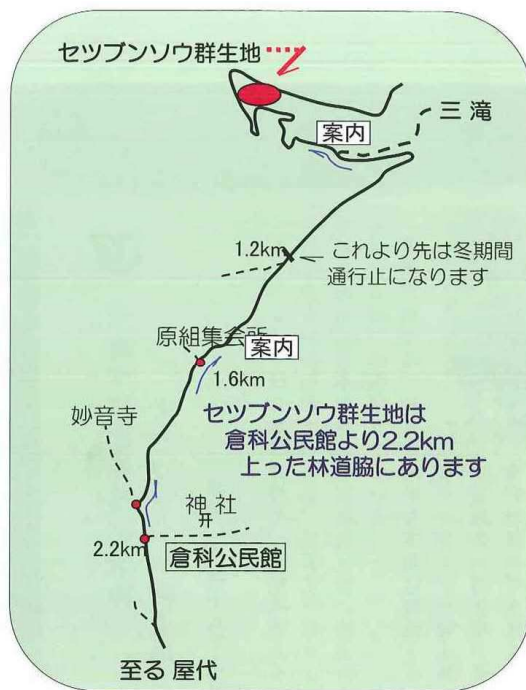


里山のセツブンソウは雪解けを待っています

セツブンソウは福寿草の仲間、キンポウゲ科他にはトリカブトなどがあり宿根草です。花の大きさは一円玉くらいの白い花、花びらに見えるのが「がく」で葉の変化したもの、中に見える紫色は「おしべ」、はなびらは黄色の「みつ線」です、一つの花は一週間ほど咲いています。が開花した頃は可憐で色合いはなんとも言えません。

名前の由来は春節分の時期に咲く事でこの名が付けられたと言いますが、当地では春遅く雪解けを待って咲きます。



このパンフレットは、平成29年度千曲市協働事業提案制度により作成しました。

- [群生地案内] 屋代駅より 8km
国道 屋代(栗佐)より東方に 7km
- [開花情報] 千曲市ホームページに掲載
倉科公民館に問い合わせ
- [問い合わせ先] 千曲市歴史文化財センター
Tel. 026-261-3210
倉科公民館
Tel. 026-272-0128

千曲市指定天然記念物・千曲市花

セツブンソウ

里山に
春をつける花

倉科セツブンソウ群生地



倉科の自然を守る会

倉科のセツブンソウ群生地は、集落を過ぎて1.5kmほど上った里山にあります。ここはかつて桑園でした、又、周辺には杉山古墳群があり、古墳は5世紀中葉～7世紀に作られたものが22基点在しています。

この群生地は約2,000㎡です、千曲市文化財に指定される以前は藪の中、花を知る人だけが観賞していました、文化財に指定され、草の保護と観察が容易となるよう園内の整備をしています。

セツブンソウは市花に制定され絶滅しない事を願っています。

◇ 文化財指定

千曲市天然記念物 平成18年9月28日
戸倉及び倉科のセツブンソウ群生地

◇ 市花制定

平成21年
花：セツブンソウ及びアンス